

12月定例会

議案等一覧 (11/25~12/12)

専決処分	1件
決算	10件
補正予算	14件
条例	8件
その他	7件
委員会提案	2件
請願	3件

議案42件はいずれも原案のとおり可決・承認・認定しました。

また、請願については、2件を採択し、1件を不採択としました。

議案や議決結果の一覧は市議会ホームページから確認できます。



▲会議結果
(議会HP)



▲12月定例会
(YouTube)



12月定例会では、学校再編に関する議案2件について白熱した議論が交わされました。

可決

高野口中学校の移転改築協議が本格化へ

橋本市立高野口中学校移転改築検討委員会条例

高野口中学校の移転改築にあたり、用地選定や基本計画に関することについて、幅広い見地から検討するため、検討委員会を設置するものです。

問 移転候補地は決まっているか。

答 現在2か所を移転候補地としており、検討委員会で意見を聞きながら進めていきます。別の移転候補地が挙げられた場合は改めて検討します。

問 義務教育学校構想について検討しているか。

答 将来的に検討する可能性はありますが、第二期基本方針において高野口中学校区について再編する方針は定めていないため、現状は義務教育学校化の予定はありません。

マメ知識

義務教育学校

小学校6年間と中学校3年間の計9年間を一つの学校として、一貫した教育を行う学校のことです。

可決

学校再編へ準備委員会条例が成立

橋本市立学校再編準備委員会条例

小学校及び中学校の学校再編を円滑に進めるため、学校再編の対象となる小中学校ごとに準備委員会を設置するものです。

問 再編統合の対象となる各小学校の準備委員会で、意見が分かれる場合はどうするのか。また、統合しないという結論になった場合は、どうするのか。

答 必要に応じ合同会議を開催し、最終的に判断します。また、統合しないという結論に至った場合は、計画の見直しをします。

問 準備委員会の委員構成はどのように決めるのか。

答 PTAや地域住民、学校運営協議会、共育コミュニティ等の代表者や学校関係者、未就学児の保護者などを想定しています。



学校再編準備委員会

討論

原案に賛成

準備委員会は、保護者や地域住民、学校関係者などで構成され、学校再編に関わる様々な問題に対して幅広く多様な意見を取り入れようとするものであり、学校再編を円滑に進め、よりよい学校づくりをしていくためには必要な条例である。

原案に反対

再編統合することを前提にしており、保護者や地域にとっては再編統合の時期が近づくと考えが変わる可能性があるため、慎重に進めていくべきである。

子どもたちの教育環境を整える観点では同意できるが、計画の理念の甘さ、これまでの説明に対し不信感があり、保護者や地域の要望に十分寄り添えていないため反対する。

隅田小学校と恋野小学校 再編統合を決定！

令和7年12月議会において隅田小学校と恋野小学校の再編統合に関する議案を審議し、賛成多数で可決しました。

(橋本市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例)

恋野小学校を廃校とし、令和10年4月1日をもって隅田小学校と恋野小学校を再編統合するものです。

賛成討論



再編統合の方針についてはこれまで説明会や意見交換会、ワークショップ、パブリックコメント等を実施し、保護者や地域住民、教育関係者等の意見に真摯に対応している。

地域から小学校がなくなることに不安や懸念の声はあるが、橋本市の子どもたちが変化の激しい時代の中でたくましく生き抜く力を培っていくため、隅田小学校と恋野小学校の伝統を引き継いだ新しい学校づくりが必要である。

現在、恋野小学校では複式学級で運用している学年があり、児童数が10人未満の学年もあるため、未来を担う子どもたちにとって、集団的な学びや多様な価値感に触れる機会が必要である。



反対討論



恋野地区区長会からの恋野小学校の存続を求める嘆願書は取り下げられておらず、地域住民の理解は得られていない。

新しい学校づくり推進計画では学校再編により1学年2クラスが望ましいとしているが、再編により2クラスになるのは6学年中1学年のみであり、計画自体に無理がある。

ICTの活用や再編統合の時期など、再度議論する余地が多くある。

経過措置

令和8年度、9年度の恋野小学校へ入学予定児童とその兄弟姉妹は、隅田小学校への通学を選択できる措置がとられます。



【再編統合の計画】

再編統合年度	再編統合対象校	中学校区
令和10年度	隅田小学校 恋野小学校	隅田中学校区
令和11年度	柱本小学校 三石小学校	紀見北中学校区
令和13年度	橋本小学校 学文路小学校 清水小学校	橋本中央中学校区
令和14年度	境原小学校 城山小学校	紀見東中学校区
今回、再編統合は行わない		高野口中学校区

今後は、各小学校の再編統合年度に応じて、各小学校ごとに学校再編準備委員会を立ち上げ、再編統合に関する検討をしっかりと行ったうえで、小中学校の設置条例の一部改正を行い、学校再編を進めていく予定とされています。



可決

病院事業管理者の給与改定を見送り

橋本市病院事業管理者の給料その他の給与条例等の一部を改正する条例

令和7年の人事院勧告による期末・勤勉手当の支給月数の引き上げについて、市民病院の経営状況を勘案し、病院事業管理者には適用しないものです。

問 病院事業管理者だけでなく病院職員についても、昨年と同様、給与引き上げを実施しないということなのか。

答 病院職員については、令和6年人事院勧告の引き上げのみを令和8年4月より実施します。令和7年人事院勧告については、診療報酬改定や病院の経営状況を踏まえ、検討します。



議案に対する議員の賛否状況（賛否が分かれたものを掲載しています）

○：賛成 ×：反対 △：欠席 キ：棄権

－：議長（議長は採決に加わりません。ただし、可否同数の場合に限り、裁決権により可否を決定します。）

件名	議決結果	賛成 反対	森	板	岡	梅	阪	高	岡	田	堀	垣	岡	小	田	南	辻	土	石	中
			下	橋	本(喜)	本	本	本	第	第	内	内	(安)	林	(和)	出	本	井	橋	本
認定第1号 令和6年度橋本市一般会計決算の認定について	認定	15:2	○	○	○	○	×	×	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号 令和6年度橋本市国民健康保険特別会計決算の認定について	認定	15:2	○	○	○	○	×	×	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号 令和6年度橋本市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	15:2	○	○	○	○	×	×	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号 令和6年度橋本市水道事業会計決算の認定について	認定	15:2	○	○	○	○	×	×	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号 橋本市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例について	原案可決	14:3	○	○	○	○	×	×	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号 橋本市立学校再編準備委員会条例について	原案可決	12:5	○	○	×	○	×	×	×	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第7号「日本国国章損壊の罪」の早期制定を求める請願について	不採択	5:12	○	○	○	×	×	×	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

議員名の下欄に各会派の略称を記載しています。

正式名称は、(共)日本共産党議員団、(第)第一義、(公)公明党議員団、(市)市民クラブ、(新)新政会、(無)会派に所属しない議員です。

市のお金はどう使われた？

令和6年度決算をチェック

令和7年10月15日から17日にかけて決算審査特別委員会を開催し、令和6年度の市の決算をチェックしました。

12月定例会において、委員長が審査内容を報告し、いずれの会計決算についても認定しました。

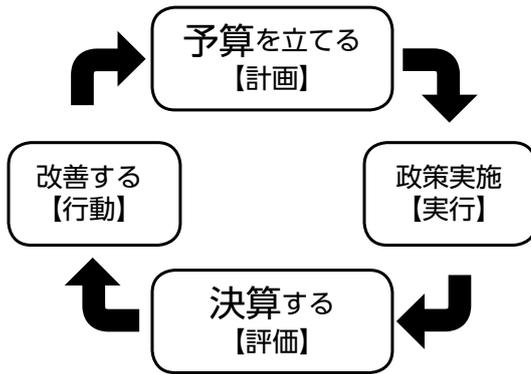
なお、委員会審査の様子は、YouTubeの橋本市議会チャンネルでご覧いただけます。



▲委員会
YouTube



▲決算審査特別委員会の様子



→例年、10月に前年度の決算審査を行い、翌年3月に新年度予算を審査します。

決算審査って

何のためにするの？



目的①

市が1年間に使ったお金が、目的どおり適切に使われたかを確認する

市の事業は、あらかじめ予算を決めて行われますが、決算では「実際にどのように使われたのか」を振り返ります。決算審査では、事業の内容や成果を確認しながら、無駄な支出はなかったか、より効果的な方法はなかったかをチェックします。

目的②

問題点や改善点を、次の事業や予算編成に活かす

決算審査は、使ったお金【Ⅱ過去】の成果を確認するだけでなく、次の予算やより良い政策【Ⅱ未来】へ活かすための大切な役割を担っています。

認定

令和6年度 一般会計決算

窓口業務 外部委託で経費削減



民間活力を活用し、定型的な業務を外部委託（アウトソーシング）することで、住民サービスの向上と職員の負担軽減を図るものです。

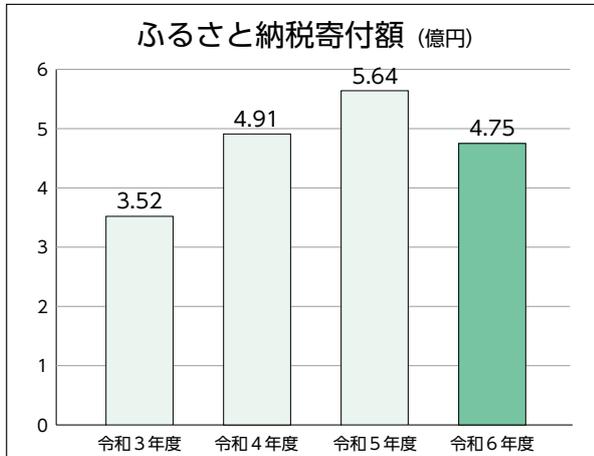
令和6年度から一部窓口で開始しており、市職員と見分けがつくよう、委託事業者スタッフはベストを着用しています。

問 窓口業務の外部委託による費用対効果は。

答 令和6年度から税務課や市民課、産業振興課で窓口等の外部委託を開始しました。

令和7年度以降も外部委託する業務を増やしていき、令和8年度で約1,900万円、令和9年度で約4,600万円の費用削減効果を見込んでいます。

柿不作 ふるさと納税伸び悩み



ふるさと納税は、地域の魅力や特産品を全国に発信し、寄付による貴重な財源を確保することを目的としています。

また、地場産業の振興や雇用の創出、関係人口の増加につながるため、各自治体が積極的に取り組んでいます。

問 令和6年度のふるさと納税寄付額が約4億7,500万円となり、前年度より約9,000万円減少した要因は。

答 返礼品のメインである柿が不作のため、受付を多くできなかったことが要因です。

目標寄付額10億円の達成に向け、今後はパイル製品などを返礼品とした寄付や返礼品協力事業者のフォローアップなどを強化していきたいと考えています。

米の価格高騰 学校給食に深刻な影響



給食賄材料費（まかないざいりょうひ）とは、学校給食をつくるために使用する食材そのものの購入費です。米やパン、肉、野菜、牛乳など、日々の給食に使用される原材料が対象となります。調理員の人件費や光熱水費などは含まれません。

問 学校給食の賄材料費が当初予算よりも約2,300万円増加した要因は。

答 米などの価格高騰による影響を受け、当初より給食1食あたり約50円の増加となりました。特に米の調達に苦慮しました。

問 市は学校給食の無償化を実施しているが、多くの大人が給食のために尽力していることを、子どもたちに伝える教育が必要ではないか。

答 子どもたちには、生産者をはじめ、多くの人の愛情を受けて給食があることを教えます。また、給食の質は落とさないよう努めます。

認定

令和6年度 病院事業会計決算

市民病院 厳しい経営状況

橋本市民病院は地域の中核病院として救急・専門医療を担っていますが、近年は経営状況が厳しくなっています。病院の収入の根幹となる診療報酬は国が定めており、人件費や医薬品などのコスト増に見合った値上げを自由に行うことができないことが主な要因です。



問 令和6年4月に導入した手術支援ロボット『ダヴィンチ』の稼働状況と収益は。

答 令和6年度は51件の手術実績があり、約3,000万円の収益となりました。

決算討論

一般会計

反対 学校再編や窓口委託に不安
市民生活支える施策の拡充を

一部の福祉施策は評価するが、学校再編への根強い不安や窓口業務委託の個人情報保護等に懸念が残る。物価高騰下、市民生活を守るため更なる見直しが必要であるため、反対する。

賛成 予算の適正な執行を確認
施策の改善要望は次期予算へ

決算審査の役割は、予算が適正に執行されたかの確認にある。施策への要望は次期予算編成に反映させるべきであり、本決算は適正と判断する。

国民健康保険特別会計

反対 毎年の国保税値上げは限界
見直しを求める

毎年の国保税値上げで1人あたり10万円になっている。加入者の多くは低所得者であり、これ以上の負担増は限界である。市民の命と健康を守る立場から税の見直しを求め反対する。

賛成 保健事業の推進と丁寧な支援を
評価

医療費抑制に向けた特定検診や重症化予防などの保健事業を実施し、納税相談など生活に寄り添った対応もされている。制度の安定運営に向け予算は適正に執行されている。

後期高齢者医療特別会計

反対 窓口負担増で生活圧迫
制度の廃止を求める

物価高や年金削減に加え、窓口負担の増加が高齢者の生活を直撃している。年齢で区切る制度自体に限界があり、制度そのものの廃止を求める立場から反対する。

賛成 制度の抜本的な改革は国への
要望で

制度は国の枠組みであり、市は負担軽減に尽力している。制度改革は国へ要望すべき課題であり、予算は適正に執行されていると判断する。

水道事業会計

反対 給水原価高騰で値上げ懸念
他会計への貸付も見直しを

物価高騰下、高い水道料金が市民生活を圧迫している。給水原価が供給単価を上回る現状は、将来の値上げにつながる懸念があり、また、他会計への貸付は見直しをする必要があるため、反対する。

賛成 漏水対策と管路耐震化を評価
安定供給と経営改善に期待

漏水調査による有収率向上や施設の更新、耐震化を評価する。人口減少による収益減などの課題はあるが、安定供給維持とインフラ強化の成果を認め賛成する。

賛否の分かれた各会計決算を掲載しています。なお、いずれも賛成多数で認定しました。

14人が市政を問う!

議員名	記事	質問事項
田中和仁	★	デジタル地域通貨を活用したボランティアの活性化について
	★	11月のイベントを集約しませんか
南出昌彦	★	子育てしやすいまちを目指したこども園運営と保育士確保策について
	★	不登校対策について
垣内憲一	★	買い物袋がゴミ袋になるまちへ
	★	あやの台北部用地内公園における草刈りを含む維持管理について
岡本安弘	★	橋本市の物価高騰対策について
小林弘	★	ヤングケアラーへの支援体制の整備・強化について
	★	ひきこもり支援事業について
土井裕美子	★	新しいデマンドタクシー導入について
	★	蒸気機関車の整備状況について
梅本知江	★	学童保育所の待機児童問題等について
	★	成人の日「20歳のつどい」の在り方について
高本勝次	★	女性のがん検診について
	★	小・中学校児童、生徒のインフルエンザワクチン予防接種補助制度について
	★	朝の子どもの居場所問題について
阪本久代	★	「橋本市新しい学校づくり推進計画(素案)」へのパブリックコメントについて
	★	廃止・除却される市営住宅と旧高野口浄水場について
	★	デマンドタクシーをドアからドアへ
岡本喜好	★	国民健康保険税の引き下げを
	★	外国人との共生社会に向けて 図書館に政治に関する情報提供を
田中博晃	★	訪問介護事業所に援助を
堀内和久	★	施設利用の予約に対する平等性について
	★	本市所有のエレベーター保守点検について
	★	本市の下水道の状況と浄化槽維持管理について No.2 隠れ谷池の土砂について 橋本駅前開発について
森下伸吾	★	高野口の「大正ロマン薫る街づくり」について
	★	区・自治会における若者の参加促進や課題について
板橋真弓	★	デジタル地域通貨「ハシモ」のカード普及について
	★	身寄りのない高齢者の終活支援体制の整備について
	★	带状疱疹ワクチン任意接種への助成拡充について



★マークのついた質問の概要を掲載しています。なお、堀内和久議員の記事は、本人の意思により掲載しておりません。



市民クラブ
南出 昌彦



不登校対策支援ルームと専任教員を各学校に！

【答弁】 来年度以降、校内の居場所と人員の更なる支援拡充を検討

問 2024年度に不登校児童生徒が144人と増加する中、学校全体のチーム体制の現状と、子どもの居場所となる校内サポートルームなどの拡充を進めるべきではないか。

答 「教育相談部会」が中心となりチーム体制で支援にあたっています。現在、中学校5校で非常勤職員による別室対応を強化しており、今後は令和8年度以降の人員配置の拡充を検討します。

問 学習の補習や不登校の対応等を行うことができる「みんなの教室」のような場所の設置を。

答 学校に来て教室に入れない児童の支援として、「校内教育支援センター」の設置を検討します。

問 第2期基本方針にある「学校規模の考え方」に至った教育委員会の方針を問う。

答 教育状況や学校の小規模化への懸念、答申等から、最善の利益を検討しました。小学校は多様な学習形態で、多様な考えに触れることで、思考力や表現力、問題解決力等が育まれます。急激な社会変化に対応できる力を身につけるために、各学年2学級以上が望ましいです。中学校は各学年3学級以上が望ましいですが、各学年2学級以上の規模は必要としました。

保育士の労働環境の改善と保育士の早期確保を

問 約40人の隠れ待機児童解消と経済的理由での子育て断念防止の為、一時預かりの料金設定見直し等の経済的支援を強化すべきではないか。

答 隠れ待機児童解消に向け新年度認可定員増加調整と個別相談を継続します。一時預かりの料金設定見直しは、財源や園経営への影響を考慮し、他市町村や国の補助制度の調査・検討を継続します。

問 公立保育士採用試験は高倍率ですが、採用に至らないケースが見られます。優秀な人材の早期確保策と業務負担を軽減する具体的な環境整備策は何か。

答 PR強化や採用基準の見直しで早期確保に努めます。環境整備として、業務軽減・離職防止のため令和8年度からの保育補助者の雇い上げ費用補助事業の検討を進めています。巡回支援や指導監査による職場環境改善も継続します。



市民クラブ
田中 和仁



地域通貨の制度を拡張しボランティアの活性化を

【答弁】 ボランティアに付与するポイント制度を拡張していきます

問 ボランティアそれぞれの活動を分析し、適切なポイントを付与するべきではないですか。

答 活動の多様性から一律設定は難しいと認識しています。現在は時間に基づき5時間以上は500ポイント、未滿は200ポイントとしています。こども食堂は要望を踏まえ、令和8年度から前日も200ポイントを付与できるよう調整しています。

問 市民活動サポートセンターに登録していないボランティアをどう支援していきますか。また、センターの機能強化も必要ではないでしょうか。

答 支援が必要な方がセンターにアクセスするよう促します。今後は持続可能な地域活動の基礎とするため、効果的な取組みを検討していきます。

問 PTA活動や、旗当番など保護者のボランティア活動について市の基本的な考え方をお聞かせください。

答 自発的な活動であり、強制すべきではないと考えます。活動負担を軽減しつつ協働しますが、活動把握が難しいためポイント付与は慎重に考えます。

問 はぐくむ条例に基づく協働により、市民の声がどのように市政に反映されていますか。

答 まちづくりアンケートや地域担当職員制度により、市民の課題を収集し、施策に反映しています。

11月のイベントを集約しませんか

問 11月の3大イベントにより時間外や休日出勤に伴い、職員の負担が増大しました。イベントを集約し、職員の負担軽減を図るべきではないですか。

答 各イベントはそれぞれの目的があり、集約には実行委員会との十分な協議が必要です。効率化のため民間委託や、ネーミングライツ、有料化など自主財源確保についても検討します。

問 橋っ子祭り等の準備負担を考慮し、行政の本業ではない行事はプロに任せるべきではないですか。

答 今後は職員が務める部分と、民間委託できる部分を研究し、運営の効率化に努めます。



新政会
岡本 安弘



物価高騰に対する橋本市の経済対策は

【答弁】 現在、支援内容を検討しています

問 これまで重点支援地方交付金を活用して実施してきた本市の経済対策は。

答 令和4年度から6年度にかけて、市民1人あたり5千円分のクーポン券配布や高齢者に対し3千円の商品券の配布、利用分の20%を還元するキャッシュレス決済での事業者支援、65歳以上の市民に5千円の現金給付、18歳までの子ども1人あたり5千円のデジタル地域通貨の給付、住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対し3万円の給付及び7万円の追加給付、18歳以下の児童に対して1人あたり2万円の加算給付、保育園、こども園等の給食費の無償化などを行っています。

問 重点支援地方交付金の国の動きや示されている内容はどのようなものか。

答 国の予算規模は2兆円が追加され、補正予算成立後、交付限度額が示されます。プレミアム商品券、電子クーポン、お米券、食料品の現物給付等の支援メニューが示されています。

問 12月中旬に国の補正予算が成立すると予想されるが、予算計上時期、臨時議会の予定は。

答 現時点で来月に臨時議会の開催をお願いしたいと考えています。

問 本市ではどういった生活支援を想定しているか。現時点で、市民に届ける給付方法は。

答 プレミアム商品券、電子クーポン、お米券等が示されており、市民への給付事業等を検討しています。現金や地域通貨ハシモの給付等が想定されますが、現在支援内容については検討していません。

問 物価高対応子育て応援手当(子ども1人あたり2万円)に対する本市の対応は。所得制限はあるか。

答 補正予算の成立後、給付に向け準備をしていきます。所得制限を設けず支給する予定です。



新政会
垣内 憲一



買い物袋がゴミ袋になるまちへ

【答弁】 検討を進めます

問 レジ袋が有料化されエコバッグの利用が進む一方、買い物袋が足りずレジ袋を利用している人を見かけます。そこでレジ袋兼橋本市指定ゴミ袋の導入を提案します。最近高齢者の方からは「今の指定ごみ袋が大きいので、ゴミステーションに持って行くのが重たくて大変」、「持って行ってもゴミステーションのカゴのフタの位置が高く、重くて入れるのが大変」という声を聞きます。そのような困りごとをも一つ解決できるため、取り組んではどうでしょうか。

答 市民の方々から「分別により、ゴミの量が減ったため、今より小さいごみ袋を作ってほしい」という意見があることや、世帯人数が減少していることから導入に向けて検討します。また、指定袋のレジ袋としての販売については、レジ袋の削減、市民サービス向上の面から有効な方法の一つですが、指定袋販売店の負担が生じることから、販売店と協議し、実施可能かどうか検討を進めます。

あやの台北部用地の周辺環境の適切な維持管理を

問 山内南公園の環境整備について、山内開発委員会からも法面の草刈りの早急な対応を求める声が継続的に寄せられていました。しかし、対応が今になった状況について、行政が地域の声を軽視したのではないかとという受け止めにもつながりかねません。

本事業は企業誘致を柱とする重要政策の一環であり、周辺環境の維持管理は市政の姿勢を問われるのではないのでしょうか。

答 草刈りの時期については様々な考えがあるところですが、本市としては、今年度の公園共用開始前に法面全体を一度草刈りする計画としていました。今後の維持管理については、法面が広大であることを踏まえ、市全体の方針のもと、地元住民に影響を与えない範囲で適切に維持管理していきたいと考えています。



新政会
土井 裕美子



学童保育所の待機児童解消に向けて

【答弁】 待機児童を出さないよう、各小学校内で早急に対応します

問 来年度、一部の学童保育所で待機児童が出る可能性があり、定員を超えた場合は新入所希望児童を対象に抽選を行い、空きがある他の学童にタクシーで移動して保育するというプリントが該当学童の小学校で配布されました。学校内で施設を確保し、待機児童を出さないように対応できないか。

答 高野口小学校に関しては、空き教室をできるように校長からも許可をいただいております。その他の学校もできるだけ他の学校に移動しなくてもよいように、早急に学校側と協議を進め対応します。

問 和歌山県内の他の自治体では市が学童保育所の入所基準を設けています。本市においても公設民営のところに関しては市が入所基準を設ける必要があるのではないかと。

答 できるだけ運営団体に迷惑をかけないような形になるようできるところから取り組んでいきます。

蒸気機関車 (C57110) の保存と今後の活用を市民との協働で

問 運動公園に保存展示されている蒸気機関車の整備状況とクラウドファンディング(CF)などを活用した補修や保全など、市民を巻き込み、貴重な交通遺産の継承についてお考えはありますか。

答 機関車本体のサビや損傷に加え屋根部分の不具合もあり、今後は機関車の構造や状態を詳細に調査し、保全だけでなく処分を含めた選択肢についても検討していきます。また、CFを活用した補修や保全については、他自治体での実例を調査していきます。しかし、現時点では保存する場合の



予算規模や蒸気機関車の具体的な活用方法についても計画が決まっていないため、対応が困難であると考えています。



新政会
小林 弘



ヤングケアラーへの支援体制の整備・強化について

【答弁】 まずはヤングケアラーの認知度を高める啓発を行います

問 本市のヤングケアラー支援体制の現状について。

答 令和4年度より毎年、教職員や民生委員・児童委員などの地域の支援者、介護従事者などを対象に研修会や講演会を行い、ヤングケアラーに関する周知に取り組んでいます。

講演会では、ヤングケアラー元当事者を招き、当時の思いや現状についてお話いただくことで、参加者に、ヤングケアラーに対する支援のつながりにくさ、また、周囲の大人が気づくことの重要性を理解いただくなど、参加者それぞれの立場でヤングケアラーに対する意識を持つきっかけとなっています。

本市では、周囲の関係者のヤングケアラーに対する知識を深め、気づきから相談いただくことで、対象者の把握と支援につなげているところです。また、現時点で実績はありませんが、LINE相談窓口を開設し、子どもも含めた相談しやすい体制を整えています。

問 今後は、どのような取組みをしていきますか。

答 国の方針では、子ども自身に対し、ヤングケアラーの状況を把握し、必要な支援につなげることを目的とした実態調査を行うこととされていますが、子ども自身がヤングケアラーであるという自覚ができていないことが多いことから、まずは、子どもやその保護者に対するチラシの配布等を通じて、ヤングケアラーについての認知度を高める啓発を行っていきたいと考えています。

新しいデマンドタクシー導入について

問 新しいデマンドタクシーの導入や期間を定めた実証実験について。

答 多額の費用が発生するほか、既存の路線バスとの競合が民業圧迫につながる懸念があります。こうした状況を踏まえ、現時点で新たなデマンドタクシーの導入及び実証実験を実施する予定はありません。



日本共産党議員団
高本 勝次



インフルエンザワクチン予防接種補助制度について

【答弁】 ワクチン補助制度を実施する予定はありません

問 インフルエンザの感染は、様々な合併症を引き起こし、とりわけインフルエンザ脳症は命にかかわることもある。橋本市の学級閉鎖は、一昨年度で44学級、昨年度31学級あった。和歌山県御坊市と日高町で補助制度を実施しており、1回接種で1,000円を助成している。全国では、約4割の市町村で1,000円から1,500円の助成をしているので、橋本市でも、ぜひ補助制度を実施していただきたい。

答 インフルエンザ予防接種は、平成6年の予防接種法改正により、定期接種から任意接種に移行した経緯も踏まえて現時点では助成制度を導入する予定はありません。

問 予防接種補助制度を実施している自治体に問い合わせたところ、実際に予防接種を受ける生徒数は約4割程度とのこと。本市で実施した場合、約350万円の予算となる(小・中学の生徒4割に、1回接種1,000円とした場合)。感染による学級閉鎖を減らし、子育て支援になる。ぜひ予算を組んでいただきたい。

答 市が行う政策で補助するとなると、当然財源も検討しなければなりません。インフルエンザワクチンの予防接種への助成については、効果等を鑑みて、現時点では実施は考えていません。

問 定期接種ではないので「予防接種健康被害救済制度」は受けられない。しかし、任意予防接種による健康被害への救済制度がある。それは、行政措置として実施する予防接種により健康被害が生じた場合、「独立行政法人医薬品副作用被害救済制度」と「全国市長会予防接種事故賠償補償保険」の対象となって救済されるというものだ。本市でも、予防接種救済制度もあることから、ぜひ実施していただきたい。

答 実施自治体の接種率は3割程度であり、また接種による乳幼児における発症予防効果は2割から6割です。救済制度の補償内容の違いだけでなく、国の任意接種に移行した経緯、また効果等も踏まえ、現時点では実施する予定はありません。



会派に所属しない議員
梅本 知江



女性のがん検診に女性の医師やレントゲン技師を

【答弁】 委託事業者に対し、要望、協議していきます

問 現在行っているがん検診の受診率向上のための対策をお尋ねします。

答 集団検診において、休日の検診枠を設定するとともに、今年度からは集団検診での子宮頸がん検診を実施しています。また本年12月からすべての市立中学校で市保健師によるがん教育の実施を予定しています。

問 子宮がん検診や乳がん検診の受診率が低い大きな原因は検査対応する職員のほとんどが男性ということですか。痛みを伴う肉体的な負担はもちろんのこと、恥じらいなど精神的な負担があります。女性の医師やレントゲン技師の配置をお考えですか。

答 集団検診委託業者において女性スタッフの確保が困難なこと、また女性スタッフがいたとしても検診予約時に女性スタッフの配置を確定させるのが業務体制的に難しいことがありますが、引き続き集団検診における女性スタッフの確保については委託事業者に対し、要望、協議していきます。

問 他市は、乳がん検診をMRIで検査できる病院があります。恥ずかしさや痛みもなく細部まで検査できるそうです。これにより受診者の負担も少なく、受診率も上がると考えますが、橋本市民病院で実施されていますか。

答 現時点でMRIでの検診は行っておりません。強く乳がんの疑いがある場合に限り医師の判断でMRIでの撮影を実施しています。





第一義
岡本 喜好



外国人との共生社会に向けての取組みは

【答弁】 受け入れ環境の整備や生活支援に取り組んでいます

問 本市の技能実習生と所在不明となった実習生の状況は。

答 ベトナム国籍108人、ミャンマー国籍63人、インドネシア国籍19人、中国国籍9人、タイ国籍6人で、所在不明となり出入国在留管理局からの通知により職権削除を行った技能実習生は過去5年間で12人です。

問 外国人の出生人数は。

答 令和3年1人、令和5年1人、令和6年1人、令和7年はありません。

問 外国人世帯の市税・国民健康保険税滞納件数の状況は。

答 令和6年度市・県民税未納付件数9件、未納付額46万9,900円で未納付率は1.96%です。国民健康保険税の滞納者世帯の割合は約5.8%です。

問 自治会への加入状況は。

答 外国人世帯に限定した加入世帯数については把握していません。

問 こども園・幼稚園、小中学校における宗教上の理由による食材の制限への要望があればどのように対応するのか。

答 こども園・幼稚園では保護者と相談しながら個別に対応することになると考えています。小中学校では現行の給食センターで個別対応はできないため、ご家庭からのお弁当持参を認める対応を考えています。

問 外国人に起因するゴミ出しに関する苦情相談件数は。

答 ゴミ出しトラブルの認知は18件、内6件が外国人による不適正排出です。

問 外国人の農地取得状況は把握できているか。

答 令和5年9月以降、農地取得時の申請書に国籍を記載する必要があります。現在まで農地取得実績は2件です。



日本共産党議員団
阪本 久代



デマンドタクシーをドアからドアへ

【答弁】 運行コストなどの課題があり導入予定はありません

問 橋本市のデマンドタクシーはバス停方式です。高齢者にとって自宅からバス停まで遠い、行きたいところに行くコースがないので、利用できないことがあると思います。高齢者が買い物や通院に自由に行ける環境をつくることは、住み続けることができる橋本市をつくることにもつながると思います。そこでバス停方式からドアからドアへ近づけることを求めます。

答 高齢者の方々が買い物や通院をしやすい環境を整えることは、住み続けられる橋本市を実現するうえで非常に重要であり、市としても優先的に取り組むべき課題と認識しています。しかし、全てのご家庭を対象にドアツードアで運行するのは、運行コストや人的資源の確保などの課題があり、現時点での導入予定はありません。

問 紀の川市でも今年の1月8日からデマンド乗り合い交通が始まっています。バス停方式ですが、バス停はゴミの集積所と同じ場所ということで約330か所あります。橋本市は約160か所です。バス停が多いほど、自宅に近くなります。よく使う人は事前に登録をしてもらって、より家に近いところまで迎えに来てもらうようにすることはできませんか。

答 ドアからドアへはできませんが、高齢者を含む多くの市民の皆様が利便性の高い移動手段を利用できるよう改善を進めていくことは、市の重要な責務であると考えていますので、自治会や地域の実情に合わせたバス停の設置場所の見直しなど、高齢者がより気軽に利用できるよう、現状で可能な改善に取り組めます。





公明党議員団
森下 伸吾



高野口駅前を大正ロマン街 づくりに再生可能か

【答弁】 わがまち高野口魅力再生 協議会と官民協働で取り組みます

問 本市は、高野口町を「大正ロマンの薫る観光拠点」として再生するビジョンを掲げています。かつてパイル産業で栄え、大正・昭和の面影が残る地域であり、その象徴が2024年にカフェとして再生された「葛城館」です。しかし、駅南市街地では空き家や空き店舗が増え、葛城館だけでは十分な観光拠点形成には至りません。そこで、①葛城館周辺を重点整備ゾーンとして再生する考えがあるか ②短期的に実行できる具体策について ③中長期の取組みについて ④高野口ブランド発信の計画について市の考えを伺います。

答 高野口駅舎の活用や高野山の観光動向を踏まえ、地域活性化の好機と捉え、令和6年10月に「わがまち高野口魅力再生協議会」を設立し、官民協働で議論を開始しています。

①高野口駅前の観光地化に向け協議会を設立し、地域資源の活用と各地域団体が行う事業の整合性を協議中です。空き家・空き店舗も重要資源ですが、具体的な活用議論は未着手です。②短期施策は高野口駅舎の改修・利活用を最優先に進めます。地域の創意工夫を尊重しつつ、協議会での調整や情報発信等の行政支援を継続します。③中長期施策は現在未調整のため、今後の協議を経て決定し、事業者と連携して実施していく予定です。④ブランド発信については、現段階では具体策はありません。



第一義
田中 博晃



施設利用の予約に対する 平等性の確保を

【答弁】 ご指摘の点を見直し、早急に対応します

問 橋本市サカイキャニング産業文化会館「アザレア」の施設利用において、申請が重なった場合、「抽選」はいつどこで行われるのか。

答 大ホールの抽選は、使用日の申請が重なった場合、午前9時に窓口で行います。

問 抽選の方法や申請が重なった場合の団体間の調整については条例や施行規則に規定されていないが。

答 業務用の貸館マニュアルの中に記されており、公開はしていません。

問 抽選や調整については、条例や施行規則に記載がなく、また貸館マニュアルも公開していない。規則にない運用を行うことで利用者に不利益が生じた場合、訴訟の対象になり得ると考えるが、法務を担当する部局の見解は。

答 規則等に明文化されていない現時点で訴訟となった場合、市側の言い分がありません。トラブルを避けるためにも規則等を明文化すべきと考えます。

問 12か月と1日前から施設予約できる現状の制度では、制度そのものに不備があり、作為不作為にかかわらず、キャンセル料を支払わずにキャンセルできる。また手法次第では意図的な悪用も可能。これらを踏まえ、制度設計の見直しと規則の明文化を教育委員会に訴え続けてきたが何の進展もなかった。ここまでの質問から、改めて教育委員会の見解を問う。

答 施設利用に関して不明瞭なところは分かりやすくお示しできるよう、予約の方法や抽選・支払いの方法、キャンセルの取扱いの明文化については、実状に沿った貸館マニュアルになるよう見直しを行います。またそれらを早急にウェブサイト等で周知します。

すこやか橋本 まなびの日 ～ 議会報告会 ～

令和7年11月9日(日)
県立橋本体育館でブースを出展しました



ブースでは、皆さんが市に希望することを花形のふせんに書いて『希望の木』に貼っていただき、合計124枚の『希望の花』が咲きました。

皆さんの思いをかたちにできるよう、議会としての役割を果たしていきます。

希望の花 ランキング

- 1 **まちづくり・・・34件**
『防犯カメラの設置を』
『歩道の整備を』 など。
- 2 **教育・・・22件**
『学校給食のクオリティの維持を』
『教育環境の充実を』 など。
- 3 **経済・・・9件**
『大型ショッピングセンターをつくって欲しい』
『水道代を安くして欲しい』 など。
- 4 **建設・・・5件**
『図書館を良くして欲しい』
『公共インフラの老朽化対策を』 など。
- 5 **その他・・・54件**
『リモートワークできる仕事が沢山あればいいのと思います』
『これからも住みやすい、イベントの多い街にしてください』 など。



公明党議員団
板橋 真弓



高齢者の不安に寄りそう 終活支援を

【答弁】 高齢者が安心できる終活支援体制の構築に取り組みます

問 身寄りのない高齢者が増加している。終活を支える公的支援の現状は。

答 福祉課・地域包括支援センター・社会福祉協議会が、生活支援相談を担い、法律等の専門相談は、法務局や公証役場、司法書士、家庭裁判所等への適切な連携支援に努めています。

問 既存制度を連携させた「終活支援プラットフォーム」や手続き負担を軽減する「ワンストップ窓口」の整備は。

答 「終活支援プラットフォーム」は既存制度を横断し、支援体制を構築できるよう検討します。「ワンストップ窓口」については地域包括支援センターを相談窓口として位置づける方向で、国の動向を確認しながら検討していきたいと考えています。

問 社会福祉協議会に委託予定の「死後事務委託契約」についての進捗は。

答 福祉課・地域包括支援センター・社会福祉協議会で先進事例を視察し、令和8年度実施に向け制度設計に取り組んでいます。

問 民間の身元保証サービスのトラブルから、市民を守る対策は。

答 安心して利用できる事業者の条件の整理を検討するとともに、国のガイドラインを踏まえ、事業者選定の注意点や契約時の留意点をまとめたガイドシートを作成する方向で検討します。

50歳～64歳現役世代の带状疱疹ワクチン接種に独自助成を！

問 50歳以上の現役世代から市独自の助成を求める声が高まっている。定期接種対象外の現役世代への助成について、市の見解は。

答 任意接種を受けると原則定期接種の対象外となります。接種対象は疾病負荷が高まる70歳代に設定されており、効果発現時期等を踏まえ、現時点で助成の予定はありませんが、今後も国の動向を注視していきます。

ごてんば 御殿場市・富士市で地域活性化策を学ぶ



御殿場市視察



WORK新富士

令和7年11月4日～5日、総務経済委員会は静岡県御殿場市と富士市を視察しました。初日は御殿場市を訪れ、同市が運用する地域通貨「富士山Gコイン」による経済活性化や地域課題の解決に向けた取組みを、行政や民間での活用事例を交えながら学んできました。

2日目は富士市にて、労働人口減少に対応するためDXやAIを活用した企業支援、多様な働き方を推進する取組みなどについて学んできました。また、新富士駅構内にあるコワーキングスペース「WORK新富士」の視察を行いました。

今回の視察で得た知見を、今後の政策立案に活かしていく予定です。

義務教育学校と子育て支援を視察

令和7年10月21日～22日、文教厚生建設委員会は富山県南砺市なんとと石川県野々市市ののいちを視察しました。



▲南砺市視察



▲ののいち子育てステーション

初日は南砺市にて義務教育学校の取組みについて説明を受け、学年の連携体制や学習環境などを学びました。2日目は野々市市の「ののいち子育てステーション」を訪れ、子育て支援の体制や相談窓口の運営方法、利用者支援の取組みについて学びました。委員からは「子育てステーションは、保育園や子育て支援センター、発達相談センターなどの相談機能も併せ持つ複合施設で、各機関が密に連携することで、急な事案にも柔軟に対応できる体制が整っており、本市にとって大いに学ぶべき点がありました。」との声があり、有意義な視察となりました。

議会からのお知らせ

information from assembly

表紙写真を募集しています



みおとくん 2さい

前号の表紙写真撮影者インタビュー

刀谷さん 写真は令和6年の秋に、紀ノ光台をお散歩中に撮影しました。表紙に載ったことを周りの人が結構知っていて嬉しかったです。

★
♥ テーマは『笑顔』 😊
★

議会だよりの表紙写真を募集しています。
応募フォームからお気軽にご応募ください。



応募フォーム

表紙採用のポイント

- ・パツと目を引くインパクトがある
- ・季節感や時期が伝わる
- ・画質が良く、ピントが揃っている
- ・グループ写真も大歓迎！



議会だよりの読者プレゼント

より親しみやすく、わかりやすい議会だよりを目指して、皆さまのご意見・ご感想を募集しています。

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、地域通貨「ハシモ」500ポイントを4名様にプレゼントします！

※ポイント受け取りには、地域通貨アプリまたは専用カード（ハシモカード）が必要です。

500ポイント
が当たる！

応募締切
2月28日



応募フォーム

議会を傍聴してみませんか？

本会議は市役所本庁舎3階の議場で行われ、どなたでも傍聴できます。議場では、情報のバリアフリー化を目的として、音声認識表示システムを導入しています。

「傍聴席はどう行けばいいの?」「明日はどんな会議なの?」などご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

【議会事務局】0736-33-6107

議会の傍聴
議会HP



橋本市議会
YouTube



☆3月定例会の予定

2月16日	開会
24日	一般質問
25日	一般質問
26日	一般質問
27日	議案審議
3月 2日	令和8年度予算審査特別委員会
3日	令和8年度予算審査特別委員会
4日	令和8年度予算審査特別委員会
5日	総務経済委員会
6日	文教厚生建設委員会
12日	閉会